

# ダイワファンドラップ インデックスプラス・シリーズ

ダイワファンドラップ 外国株式最小分散ファンド (為替ヘッジあり)  
ダイワファンドラップ 外国株式最小分散ファンド (為替ヘッジなし)  
ダイワファンドラップ 外国投資適格社債ファンド (為替ヘッジあり)  
ダイワファンドラップ 外国投資適格社債ファンド (為替ヘッジなし)  
ダイワファンドラップ コモディティ・プラス・ファンド

## 運用報告書 (全体版)

### 第 8 期

(決算日 2024年 6月17日)

(作成対象期間 2023年 6月16日~2024年 6月17日)

#### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。  
さて、「ダイワファンドラップ インデックスプラス・  
シリーズ」は、このたび決算を行ないました。  
ここに、当作成期の運用状況をご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げ  
ます。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先 (コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00~17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<2739>  
<2740>  
<2741>  
<2742>  
<2738>

# ダイワファンドラップ 外国株式最小分散 ファンド (為替ヘッジあり)

## 運用報告書(全体版) 第8期

(決算日 2024年6月17日)

(作成対象期間 2023年6月16日~2024年6月17日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式	
信託期間	無期限(設定日:2016年9月26日)	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	外国株式最小分散マザーファンドの受益証券
	外国株式最小分散マザーファンド	世界(日本を含みます。)の金融商品取引所上場のETF ※このファンドにおいてETFとは上場投資信託証券および上場投資法人債券をいいます。
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	ベビーファンドの株式実質組入上限比率	
	マザーファンドの株式組入上限比率	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、海外の株式を対象としたETFに投資し、信託財産の成長をめざしております。当完成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先(コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00~17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCIコクサイ指数 (税引後配当込み、 円ヘッジ・ベース)		投資信託 受益証券 組入比率	投資証券 組入比率	純資産額		
	(分配落)	税 分 配	込 金 騰 落	中 率	(参考指数)				期 騰 落 中 率	
	円	円	%		%	%	%	百万円		
4期末 (2020年6月15日)	11,370	0	△	6.2	12,944	1.6	66.8	27.6	783	
5期末 (2021年6月15日)	14,147	0		24.4	18,034	39.3	64.7	32.1	861	
6期末 (2022年6月15日)	13,192	0	△	6.8	15,769	△	12.6	67.5	29.0	864
7期末 (2023年6月15日)	13,522	0		2.5	17,696	12.2	71.2	26.1	1,070	
8期末 (2024年6月17日)	14,012	0		3.6	20,346	15.0	70.1	26.1	1,086	

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCIコクサイ指数（税引後配当込み、円ヘッジ・ベース）は、MSCI Inc.（「MSCI」）の承諾を得て、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCIコクサイ指数（税引後配当込み、円ヘッジ・ベース）は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドに基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。

[ <https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html> ]

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 投資信託受益証券および投資証券の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

期首：13,522円

期末：14,012円（分配金0円）

騰落率：3.6%（分配金込み）

#### 基準価額の主な変動要因

「外国株式最小分散マザーファンド」を通じて、海外の株式を対象としたETF（※）に投資し、為替ヘッジを行い運用した結果、株式市況の上昇（現地通貨ベース）がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※当ファンドにおいてETFとは、上場投資信託証券および上場投資法人債券をいいます。

年 月 日	基 準 価 額		MSCIコクサイ指数 (税引後配当込み、円ヘッジ・ベース)		投資信託 受益証券 組入比率	投資証券 組入比率
	円	騰 落 率	(参 考 指 数)	騰 落 率		
(期 首) 2023年 6月15日	13,522	—	17,696	—	71.2	26.1
6 月 末	13,510	△ 0.1	17,712	0.1	71.0	25.9
7 月 末	13,796	2.0	18,333	3.6	70.2	26.2
8 月 末	13,501	△ 0.2	17,943	1.4	71.3	26.1
9 月 末	13,001	△ 3.9	17,138	△ 3.2	71.1	26.0
10 月 末	12,670	△ 6.3	16,490	△ 6.8	70.5	25.9
11 月 末	13,284	△ 1.8	17,808	0.6	69.7	25.7
12 月 末	13,657	1.0	18,596	5.1	69.4	25.4
2024年 1 月 末	13,813	2.2	18,992	7.3	70.9	25.9
2 月 末	13,958	3.2	19,442	9.9	71.1	25.7
3 月 末	14,252	5.4	20,093	13.5	73.1	26.4
4 月 末	13,893	2.7	19,582	10.7	72.1	26.5
5 月 末	13,890	2.7	19,907	12.5	70.5	25.9
(期 末) 2024年 6月17日	14,012	3.6	20,346	15.0	70.1	26.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2023. 6. 16 ~ 2024. 6. 17)

### 外国株式市況

外国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、米国長期金利の上昇や中東地域での地政学リスクの高まりから、2023年10月にかけて下落しました。その後は、F R B（米国連邦準備制度理事会）の利下げ観測の高まりや米国経済のソフトランディング期待を背景に堅調に推移し、当作成期を通しては上昇しました。欧州株式市況も、中国経済の悪化懸念や米国長期金利の上昇が嫌気されて、2023年10月にかけて下落しました。その後は、E C B（欧州中央銀行）が景気見通しを引き下げ、利下げ期待が高まったことなどからおおむね堅調に推移しました。新興国株式市況は、中国経済の低迷や低調な不動産市場などから中国株式市況は下落しましたが、米国のハイテク株高を受けて台湾、韓国株式市況が上昇したことや、インド株式市況も堅調に推移したことで、当作成期を通しては上昇しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### 当ファンド

「外国株式最小分散マザーファンド」を通じて、海外の株式を対象としたE T Fに投資します。

保有実質外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、保有外貨および各E T Fの取引通貨売り／円買いの為替取引を行います。

### 外国株式最小分散マザーファンド

主に海外の株式を対象とし、価格変動リスクを抑える運用成果をめざすE T Fに投資を行います。

各E T Fの投資効率分析などを踏まえ、効率的なE T Fへの配分をめざし、またポートフォリオ全体のリスクを注視し、信託財産の成長をめざします。

なお、E T Fへの投資にあたっては、大和証券株式会社から助言を受けます。

## ポートフォリオについて

(2023. 6. 16 ~ 2024. 6. 17)

### 当ファンド

「外国株式最小分散マザーファンド」の受益証券の組入比率を高位に維持しました。

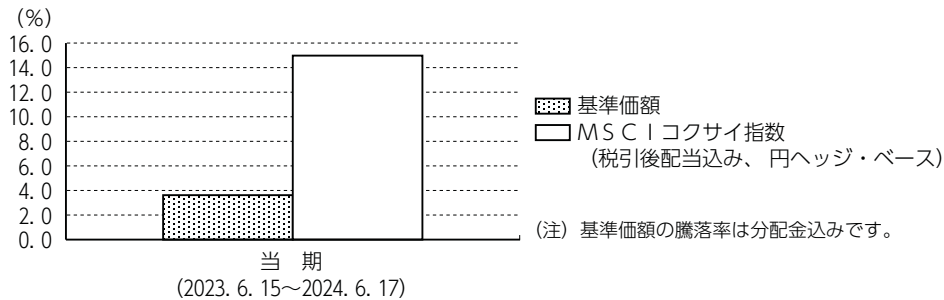
保有実質外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、保有外貨および各E T Fの取引通貨売り／円買いの為替取引を行いました。

### 外国株式最小分散マザーファンド

海外の株式を対象としたE T Fに投資しました。また、投資効率分析などを踏まえて、適宜E T Fの配分比率の見直しを行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。  
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期は、信託財産の成長を考慮して、収益分配を見送らせていただきました。  
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項目	当期	
	2023年6月16日 ～2024年6月17日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	4,011

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



## 今後の運用方針

### 当ファンド

「外国株式最小分散マザーファンド」を通じて、海外の株式を対象としたETFに投資します。  
保有実質外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、保有外貨および各ETFの取引通貨売り／円買いの為替取引を行います。

### 外国株式最小分散マザーファンド

主に海外の株式を対象とし、価格変動リスクを抑える運用成果をめざすETFに投資を行います。  
各ETFの投資効率分析などを踏まえ、効率的なETFへの配分をめざし、またポートフォリオ全体のリスクを注視し、信託財産の成長をめざします。

なお、ETFへの投資にあたっては、大和証券株式会社から助言を受けます。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2023. 6. 16~2024. 6. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	69円	0.509%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は13,609円です。
（投 信 会 社）	(58)	(0.426)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(8)	(0.055)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(4)	(0.028)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	4	0.032	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託受益証券）	(3)	(0.019)	
（投 資 証 券）	(2)	(0.012)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資信託受益証券）	(0)	(0.000)	
（投 資 証 券）	(0)	(0.000)	
そ の 他 費 用	10	0.072	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(3)	(0.023)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(6)	(0.044)	非配当所得に係る税金支払い、信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	83	0.613	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

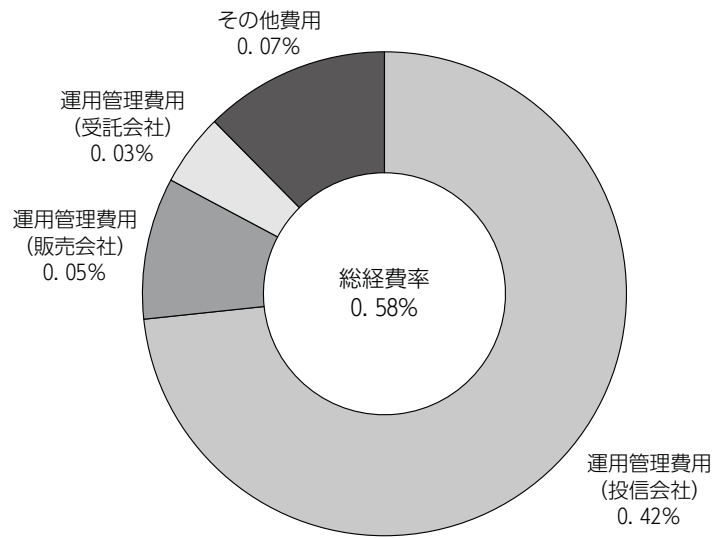
(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。



参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.58%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2023年6月16日から2024年6月17日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国株式最小分散マザーファンド	148,575	350,810	240,337	571,430

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	口 数	評 価 額	口 数	評 価 額
	千口	千円	千口	千円
外国株式最小分散マザーファンド	499,970	408,208	1,079,016	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年6月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
外国株式最小分散マザーファンド	1,079,016	98.5 %
コール・ローン等、その他	15,902	1.5
投資信託財産総額	1,094,918	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6月17日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=157.53円、1カナダ・ドル=114.69円、1ユーロ=168.64円です。

(注3) 外国株式最小分散マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(1,780,936千円)の投資信託財産総額(1,810,586千円)に対する比率は、98.4%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年6月17日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,153,070,466円
コール・ローン等	12,052,486
外国株式最小分散マザーファンド(評価額)	1,079,016,211
未収入金	1,062,001,769
(B) 負債	1,066,221,482
未払金	1,063,176,923
未払解約金	240,339
未払信託報酬	2,774,166
その他未払費用	30,054
(C) 純資産総額(A-B)	1,086,848,984
元本	775,680,807
次期繰越損益金	311,168,177
(D) 受益権総口数	775,680,807口
1万口当り基準価額(C/D)	14,012円

\* 期首における元本額は791,582,521円、当作成期間中における追加設定元本額は192,541,158円、同解約元本額は208,442,872円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は14,012円です。

■損益の状況

当期 自2023年6月16日 至2024年6月17日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	21円
受取利息	2,583
支払利息	△ 2,562
(B) 有価証券売買損益	40,511,603
売買益	318,069,574
売買損	△ 277,557,971
(C) 信託報酬等	△ 5,576,552
(D) 当期損益金(A+B+C)	34,935,072
(E) 前期繰越損益金	41,506,484
(F) 追加信託差損益金	234,726,621
(配当等相当額)	( 218,885,484)
(売買損益相当額)	( 15,841,137)
(G) 合計(D+E+F)	311,168,177
次期繰越損益金(G)	311,168,177
追加信託差損益金	234,726,621
(配当等相当額)	( 218,885,484)
(売買損益相当額)	( 15,841,137)
分配準備積立金	76,441,556

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	21円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	4,865,405
(c) 収益調整金	234,726,621
(d) 分配準備積立金	71,576,130
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	311,168,177
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	311,168,177
(h) 受益権総口数	775,680,807口

## 外国株式最小分散マザーファンド

## 運用報告書 第8期 (決算日 2024年6月17日)

(作成対象期間 2023年6月16日~2024年6月17日)

外国株式最小分散マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

## ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

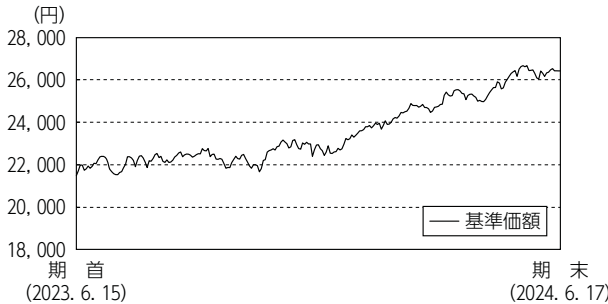
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	世界（日本を含みます。）の金融商品取引所上場のETF ※このファンドにおいてETFとは上場投資信託証券および上場投資法人債券をいいます。
株式組入制限	無制限

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

## ■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		MSCIコクサイ指数 (税引後配当込み、円換算)		投資信託 受益証券 組入比率	投資証券 組入比率
	円	騰落率 (参考指数)	騰落率	%		
(期首) 2023年6月15日	21,481	—	27,278	—	71.0	26.0
6月末	22,235	3.5	28,198	3.4	71.1	25.9
7月末	22,197	3.3	28,625	4.9	70.6	26.3
8月末	22,599	5.2	29,111	6.7	70.9	26.0
9月末	22,290	3.8	28,401	4.1	70.7	25.9
10月末	21,812	1.5	27,449	0.6	70.8	26.0
11月末	22,733	5.8	29,587	8.5	70.9	26.2
12月末	22,748	5.9	30,139	10.5	70.6	25.8
2024年1月末	23,955	11.5	31,940	17.1	71.0	25.9
2月末	24,797	15.4	33,484	22.8	71.0	25.7
3月末	25,536	18.9	34,883	27.9	72.1	26.0
4月末	25,917	20.7	35,336	29.5	71.0	26.0
5月末	26,052	21.3	36,168	32.6	71.0	26.1
(期末) 2024年6月17日	26,433	23.1	37,181	36.3	70.6	26.3

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) MSCIコクサイ指数 (税引後配当込み、円換算) は、MSCI Inc. (「MSCI」) の承諾を得て、MSCIコクサイ指数 (税引後配当込み、米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCIコクサイ指数 (税引後配当込み、米ドルベース) は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。  
(<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>)

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

## 《運用経過》

## ◆基準価額等の推移について

## 【基準価額・騰落率】

期首：21,481円 期末：26,433円 騰落率：23.1%

## 【基準価額の主な変動要因】

主に海外の株式を対象とし、価格変動リスクを抑える運用成果をめざすETF (※) に投資を行った結果、株式市況の上昇 (現地通貨ベース) および為替相場での投資対象通貨の上昇 (円安) がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※当ファンドにおいてETFとは、上場投資信託証券および上場投資法人債券をいいます。

## ◆投資環境について

## ○外国株式市況

外国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、米国長期金利の上昇や中東地域での地政学リスクの高まりから、2023年10月にかけて下落しました。その後は、FRB (米国連邦準備制度理事会) の利下げ観測の高まりや米国経済のソフトランディング期待を背景に堅調に推移し、当作成期を通しては上昇しました。欧州株式市況も、中国経済の悪化懸念や米国長期金利の上昇が嫌気されて、2023年10月にかけて下落しました。その後は、ECB (欧州中央銀行) が景気見通しを引き下げ、利下げ期待が高まったことなどからおおむね堅調に推移しました。新興国株式市況は、中国経済の低迷や低調な不動産市場などから中国株式市況は下落しましたが、米国のハイテク株高を受けて台湾、韓国株式市況が上昇したことや、インド株式市況も堅調に推移したことで、当作成期を通しては上昇しました。

## ○為替相場

米ドル、カナダ・ドル、ユーロは対円で上昇しました。

米ドルは、日米での金融政策の方向性の違いにより、当作成期首から2023年10月にかけて、対円で上昇しました。11月以降は、為替介入への警戒感や、米国経済指標の軟化から早期利下げ観測が高まり、年末にかけて対円で下落 (円高) しましたが、2024年に入ってから、米国の利下げ期待が後退したことで再び対円で上昇基調となりました。ユーロは、ECB (欧州中央銀行) の利上げによる金利差拡大から対円で上昇しました。カナダ・ドルは対米ドルでは下落しましたが、円の対米ドルでの下落が大きかったことから対円では上昇しました。

## ◆前作成期末における「今後の運用方針」

主に海外の株式を対象とし、価格変動リスクを抑える運用成果をめざすETFに投資を行います。

各ETFの投資効率分析などを踏まえ、効率的なETFへの配分をめざし、またポートフォリオ全体のリスクを注視し、信託財産の成長をめざします。

なお、ETFへの投資にあたっては、大和証券株式会社から助言を受けます。

## ◆ポートフォリオについて

海外の株式を対象としたETFに投資しました。また、投資効率分析などを踏まえて、適宜ETFの配分比率の見直しを行いました。

## ◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

主に海外の株式を対象とし、価格変動リスクを抑える運用成果をめざすETFに投資を行います。  
 各ETFの投資効率分析などを踏まえ、効率的なETFへの配分をめざし、またポートフォリオ全体のリスクを注視し、信託財産の成長をめざします。  
 なお、ETFへの投資にあたっては、大和証券株式会社から助言を受けます。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料 (投資信託受益証券) (投資証券)	8円 (5) (3)
有価証券取引税 (投資信託受益証券) (投資証券)	0 (0) (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	14 (3) (11)
合計	22

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。  
 (注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1) 投資信託受益証券

(2023年6月16日から2024年6月17日まで)

銘柄	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
<b>アメリカ</b>	千口	千アメリカ・ドル	千口	千アメリカ・ドル
INVESTCO S&P 500 LOW VOLATILI	6.69	420	11.1	701
INVESTCO S&P 500 HIGH DIVIDEN	1	42	2.47	105
ISHARES MSCI USA MIN VOL FAC	6.8	521	16.7	1,296
SPDR SSGA US LARGE CAP LOW V	1.44	209	3.29	480
<b>カナダ</b>	千口	千カナダ・ドル	千口	千カナダ・ドル
BMO LOW VOLATILITY CANADIAN	—	—	2.4	103

(注1) 金額は受渡し代金。  
 (注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資証券

(2023年6月16日から2024年6月17日まで)

銘柄	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
<b>アメリカ</b>	千口	千アメリカ・ドル	千口	千アメリカ・ドル
ISHARES MSCI EMG MKT MIN VOL	5.12	283	8.04	447
<b>ユーロ (アイルランド)</b>	千口	千ユーロ	千口	千ユーロ
ISHARES EDGE MSCI ERP MINVOL	2.81	152	6	329

(注1) 金額は受渡し代金。  
 (注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国投資信託受益証券

銘柄	期首 口数	当期末 口数	当期末 評価額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
<b>(アメリカ)</b>	千口	千口	千アメリカ・ドル	千円
INVESTCO S&P 500 LOW VOLATILI	35.9	31.49	2,043	321,894
INVESTCO S&P 500 HIGH DIVIDEN	12.1	10.63	469	74,031
ISHARES MSCI USA MIN VOL FAC	51.35	41.45	3,434	541,109
SPDR SSGA US LARGE CAP LOW V	11.6	9.75	1,485	233,935
アメリカ・ドル 通貨計	口数、金額 4銘柄	口数、金額 4銘柄	7,433	1,170,971 <64.8%>
<b>(カナダ)</b>	千口	千口	千カナダ・ドル	千円
BMO LOW VOLATILITY CANADIAN	23.8	21.4	924	106,004
カナダ・ドル 通貨計	口数、金額 1銘柄	口数、金額 1銘柄	924	106,004 <5.9%>
合計	口数、金額 5銘柄	口数、金額 5銘柄	—	1,276,975 <70.6%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。  
 (注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。  
 (注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資証券

銘柄	期首 口数	当期末 口数	当期末 評価額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
<b>(アメリカ)</b>	千口	千口	千アメリカ・ドル	千円
ISHARES MSCI EMG MKT MIN VOL	31.32	28.4	1,607	253,197
アメリカ・ドル 通貨計	口数、金額 1銘柄	口数、金額 1銘柄	1,607	253,197 <14.0%>
<b>ユーロ (アイルランド)</b>	千口	千口	千ユーロ	千円
ISHARES EDGE MSCI ERP MINVOL	25.644	22.454	1,320	222,654
ユーロ 通貨計	口数、金額 1銘柄	口数、金額 1銘柄	1,320	222,654 <12.3%>
合計	口数、金額 2銘柄	口数、金額 2銘柄	—	475,852 <26.3%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。  
 (注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。  
 (注3) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2024年6月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	1,276,975	70.5
投資証券	475,852	26.3
コール・ローン等、その他	57,758	3.2
投資信託財産総額	1,810,586	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6月17日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=157.53円、1カナダ・ドル=114.69円、1ユーロ=168.64円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(1,780,936千円)の投資信託財産総額(1,810,586千円)に対する比率は、98.4%です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年6月17日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,810,586,234円
コール・ローン等	53,458,314
投資信託受益証券(評価額)	1,276,975,346
投資証券(評価額)	475,852,237
未収配当金	4,300,337
(B) 負債	3,000,000
未払解約金	3,000,000
(C) 純資産総額(A-B)	1,807,586,234
元本	683,825,294
次期繰越損益金	1,123,760,940
(D) 受益権総口数	683,825,294口
1万口当り基準価額(C/D)	26,433円

\* 期首における元本額は810,919,915円、当作成期間中における追加設定元本額は190,321,754円、同解約元本額は317,416,375円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：  
ダイワファンドラップ 外国株式最小分散ファンド(為替ヘッジあり) 408,208,002円  
ダイワファンドラップ 外国株式最小分散ファンド(為替ヘッジなし) 275,617,292円  
\* 当期末の計算口数当りの純資産額は26,433円です。

## ■損益の状況

当期 自2023年6月16日 至2024年6月17日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	35,769,040円
受取配当金	34,191,971
受取利息	1,583,868
その他収益金	194
支払利息	△ 6,993
(B) 有価証券売買損益	342,878,953
売買益	344,133,721
売買損	△ 1,254,768
(C) その他費用	△ 1,069,827
(D) 当期損益金(A+B+C)	377,578,166
(E) 前期繰越損益金	931,028,153
(F) 解約差損益金	△ 442,593,625
(G) 追加信託差損益金	257,748,246
(H) 合計(D+E+F+G)	1,123,760,940
次期繰越損益金(H)	1,123,760,940

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

# ダイワファンドラップ 外国株式最小分散 ファンド (為替ヘッジなし)

## 運用報告書(全体版) 第8期

(決算日 2024年6月17日)

(作成対象期間 2023年6月16日~2024年6月17日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式	
信託期間	無期限(設定日:2016年9月26日)	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	外国株式最小分散マザーファンドの受益証券
	外国株式最小分散マザーファンド	世界(日本を含みます。)の金融商品取引所上場のETF ※このファンドにおいてETFとは上場投資信託証券および上場投資法人債券をいいます。
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	ベビーファンドの株式実質組入上限比率	
	マザーファンドの株式組入上限比率	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、海外の株式を対象としたETFに投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先(コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00~17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCIコクサイ指数 (税引後配当込み、円換算)		投資信託 受益証券 組入比率	投資証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税 分 配	込 金 騰 落	中 率	(参考指数)			
	円	円	%		%	%	%	百万円
4期末 (2020年6月15日)	12,804	0	△ 6.5	14,456	1.8	68.4	28.2	201
5期末 (2021年6月15日)	16,676	0	30.2	21,230	46.9	64.2	31.9	241
6期末 (2022年6月15日)	18,376	0	10.2	22,196	4.5	66.9	28.7	391
7期末 (2023年6月15日)	20,404	0	11.0	27,278	22.9	70.3	25.8	674
8期末 (2024年6月17日)	24,977	0	22.4	37,181	36.3	70.3	26.2	731

- (注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
- (注2) MSCIコクサイ指数（税引後配当込み、円換算）は、MSCI Inc.（「MSCI」）の承諾を得て、MSCIコクサイ指数（税引後配当込み、米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCIコクサイ指数（税引後配当込み、米ドルベース）は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。  
〔 <https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html> 〕
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注5) 投資信託受益証券および投資証券の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\*分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■基準価額・騰落率

期首：20,404円

期末：24,977円（分配金0円）

騰落率：22.4%（分配金込み）

#### ■基準価額の主な変動要因

「外国株式最小分散マザーファンド」を通じて、海外の株式を対象としたETF（※）に投資を行った結果、株式市況の上昇（現地通貨ベース）および為替相場での投資対象通貨の上昇（円安）がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※当ファンドにおいてETFとは、上場投資信託証券および上場投資法人債券をいいます。



年 月 日	基 準 価 額		MSCIコクサイ指数 (税引後配当込み、円換算) (参考指数)		投資信託 受益証券 組入比率	投資証券 組入比率
	円	騰 落 率	騰 落 率	%		
(期首) 2023年6月15日	20,404	—	27,278	—	70.3	25.8
6月末	21,107	3.4	28,198	3.4	70.4	25.7
7月末	21,062	3.2	28,625	4.9	69.9	26.1
8月末	21,432	5.0	29,111	6.7	70.6	25.9
9月末	21,131	3.6	28,401	4.1	70.5	25.8
10月末	20,671	1.3	27,449	0.6	70.6	26.0
11月末	21,533	5.5	29,587	8.5	70.8	26.1
12月末	21,552	5.6	30,139	10.5	70.5	25.8
2024年1月末	22,684	11.2	31,940	17.1	70.9	25.9
2月末	23,470	15.0	33,484	22.8	70.8	25.6
3月末	24,158	18.4	34,883	27.9	72.0	26.0
4月末	24,507	20.1	35,336	29.5	70.8	26.0
5月末	24,624	20.7	36,168	32.6	70.8	26.0
(期末) 2024年6月17日	24,977	22.4	37,181	36.3	70.3	26.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2023. 6. 16 ~ 2024. 6. 17)

### ■外国株式市況

外国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、米国長期金利の上昇や中東地域での地政学リスクの高まりから、2023年10月にかけて下落しました。その後は、F R B（米国連邦準備制度理事会）の利下げ観測の高まりや米国経済のソフトランディング期待を背景に堅調に推移し、当作成期を通しては上昇しました。欧州株式市況も、中国経済の悪化懸念や米国長期金利の上昇が嫌気されて、2023年10月にかけて下落しました。その後は、E C B（欧州中央銀行）が景気見通しを引き下げ、利下げ期待が高まったことなどからおおむね堅調に推移しました。新興国株式市況は、中国経済の低迷や低調な不動産市場などから中国株式市況は下落しましたが、米国のハイテク株高を受けて台湾、韓国株式市況が上昇したことや、インド株式市況も堅調に推移したことで、当作成期を通しては上昇しました。

### ■為替相場

米ドル、カナダ・ドル、ユーロは対円で上昇しました。

米ドルは、日米での金融政策の方向性の違いにより、当作成期首から2023年10月にかけて、対円で上昇しました。11月以降は、為替介入への警戒感や、米国経済指標の軟化から早期利下げ観測が高まり、年末にかけて対円で下落（円高）しましたが、2024年に入ってから、米国の利下げ期待が後退したことで再び対円で上昇基調となりました。ユーロは、E C B（欧州中央銀行）の利上げによる金利差拡大から対円で上昇しました。カナダ・ドルは対米ドルでは下落しましたが、円の対米ドルでの下落が大きかったことから対円では上昇しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

「外国株式最小分散マザーファンド」を通じて、海外の株式を対象としたE T Fに投資します。

### ■外国株式最小分散マザーファンド

主に海外の株式を対象とし、価格変動リスクを抑える運用成果をめざすE T Fに投資を行います。

各E T Fの投資効率分析などを踏まえ、効率的なE T Fへの配分をめざし、またポートフォリオ全体のリスクを注視し、信託財産の成長をめざします。

なお、E T Fへの投資にあたっては、大和証券株式会社から助言を受けます。

## ポートフォリオについて

(2023. 6. 16 ~ 2024. 6. 17)

### ■当ファンド

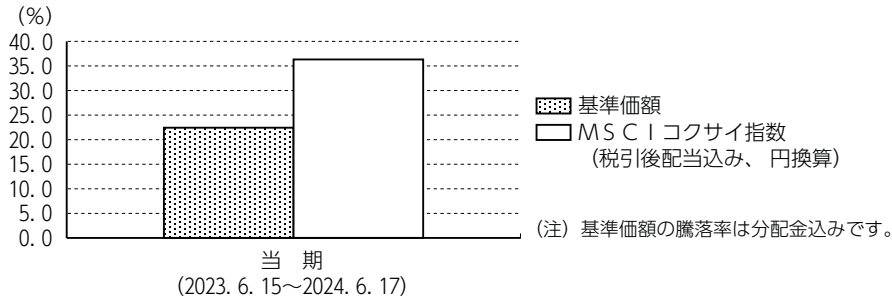
「外国株式最小分散マザーファンド」の受益証券の組入比率を高位に維持しました。

### ■外国株式最小分散マザーファンド

海外の株式を対象としたE T Fに投資しました。また、投資効率分析などを踏まえて、適宜E T Fの配分比率の見直しを行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。  
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期は、信託財産の成長を考慮して、収益分配を見送らせていただきました。  
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期 2023年 6月16日 ～2024年 6月17日	
	当期分配金 (税込み) (円)	
対基準価額比率 (%)		—
当期の収益 (円)		—
当期の収益以外 (円)		—
翌期繰越分配対象額 (円)		14,977

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売却等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



## 今後の運用方針

### 当ファンド

「外国株式最小分散マザーファンド」を通じて、海外の株式を対象としたETFに投資します。

### 外国株式最小分散マザーファンド

主に海外の株式を対象とし、価格変動リスクを抑える運用成果をめざすETFに投資を行います。

各ETFの投資効率分析などを踏まえ、効率的なETFへの配分をめざし、またポートフォリオ全体のリスクを注視し、信託財産の成長をめざします。

なお、ETFへの投資にあたっては、大和証券株式会社から助言を受けます。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2023. 6. 16~2024. 6. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	114円	0.509%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は22,337円です。
（投 信 会 社）	(95)	(0.426)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(12)	(0.055)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(6)	(0.028)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	7	0.032	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託受益証券）	(4)	(0.019)	
（投 資 証 券）	(3)	(0.012)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資信託受益証券）	(0)	(0.000)	
（投 資 証 券）	(0)	(0.000)	
そ の 他 費 用	14	0.063	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(3)	(0.014)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(10)	(0.043)	非配当所得に係る税金支払い、信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	135	0.604	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

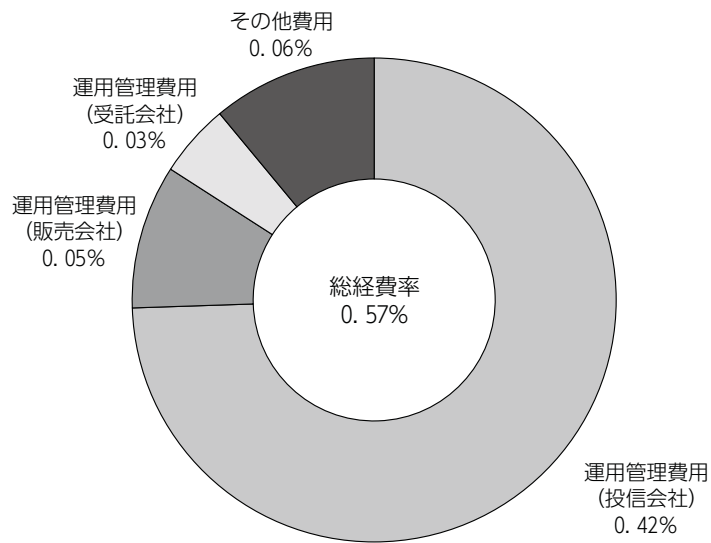
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.57%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2023年6月16日から2024年6月17日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国株式最小分散 マザーファンド	41,746	97,260	77,078	188,580

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	当 期 末		
	期 首	口 数	評 価 額
	千口	千円	千円
外国株式最小分散 マザーファンド	310,949	275,617	728,539

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年6月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
外国株式最小分散マザーファンド	728,539	99.3
コール・ローン等、その他	5,267	0.7
投資信託財産総額	733,806	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6月17日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=157.53円、1カナダ・ドル=114.69円、1ユーロ=168.64円です。

(注3) 外国株式最小分散マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(1,780,936千円)の投資信託財産総額(1,810,586千円)に対する比率は、98.4%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年6月17日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	733,806,294円
コール・ローン等	5,267,107
外国株式最小分散マザーファンド(評価額)	728,539,187
(B) 負債	1,950,057
未払信託報酬	1,929,176
その他未払費用	20,881
(C) 純資産総額(A-B)	731,856,237
元本	293,006,335
次期繰越損益金	438,849,902
(D) 受益権総口数	293,006,335口
1万口当り基準価額(C/D)	24,977円

\* 期首における元本額は330,460,425円、当作成期間中における追加設定元本額は49,589,551円、同解約元本額は87,043,641円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は24,977円です。

■損益の状況

当期 自2023年6月16日 至2024年6月17日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 535円
受取利息	652
支払利息	△ 1,187
(B) 有価証券売買損益	130,328,269
売買益	151,075,166
売買損	△ 20,746,897
(C) 信託報酬等	△ 3,717,262
(D) 当期損益金(A+B+C)	126,610,472
(E) 前期繰越損益金	67,867,299
(F) 追加信託差損益金	244,372,131
(配当等相当額)	( 161,901,209)
(売買損益相当額)	( 82,470,922)
(G) 合計(D+E+F)	438,849,902
次期繰越損益金(G)	438,849,902
追加信託差損益金	244,372,131
(配当等相当額)	( 161,901,209)
(売買損益相当額)	( 82,470,922)
分配準備積立金	194,478,306
繰越損益金	△ 535

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示してあります。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	126,608,906
(c) 収益調整金	244,372,131
(d) 分配準備積立金	67,869,400
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	438,850,437
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	438,850,437
(h) 受益権総口数	293,006,335口

■外国株式最小分散マザーファンドの第8期決算については、10~12ページをご参照ください。

# ダイワファンドラップ 外国投資適格社債 ファンド (為替ヘッジあり)

## 運用報告書(全体版) 第8期

(決算日 2024年6月17日)  
(作成対象期間 2023年6月16日~2024年6月17日)

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券		
信託期間	無期限(設定日:2016年9月26日)		
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	外国投資適格社債マザーファンドの受益証券	
	外国投資適格社債マザーファンド	世界(日本を含みます。)の金融商品取引所上場のETF ※このファンドにおいてETFとは上場投資信託証券および上場投資法人債券をいいます。	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	ベビーファンドの株式実質組入上限比率		
	マザーファンドの株式組入上限比率		
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。		

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、海外の投資適格社債を対象としたETFに投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先(コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00~17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			FTSE世界BIG社債 インデックス (除く円建て、米ドルベース)		投資信託 受益証券 組入比率	投資証券 組入比率	純資産 総額	
	(分配落)	税 分 配	込 金 騰 落	中 率	(参考指数)				期 騰 落 率
	円	円		%	(参考指数)	%	%	百万円	
4期末 (2020年6月15日)	10,508	0		5.0	11,465	7.2	71.5	24.0	2,004
5期末 (2021年6月15日)	10,722	0		2.0	12,214	6.5	71.0	23.0	2,582
6期末 (2022年6月15日)	9,060	0	△	15.5	9,915	△ 18.8	73.0	23.9	2,783
7期末 (2023年6月15日)	8,867	0	△	2.1	10,252	3.4	75.1	22.2	2,823
8期末 (2024年6月17日)	8,821	0	△	0.5	10,889	6.2	75.6	22.0	2,600

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) FTSE世界BIG社債インデックス（除く円建て、米ドルベース）は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。FTSE世界BIG社債インデックス（除く円建て、米ドルベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

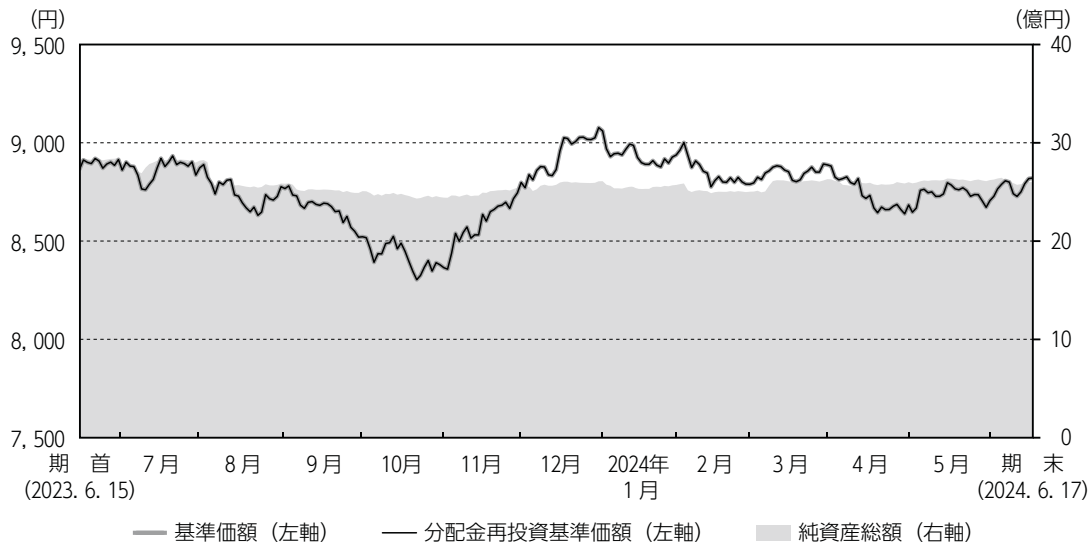
(注5) 投資信託受益証券および投資証券の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。





## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

期首：8,867円

期末：8,821円（分配金0円）

騰落率：△0.5%（分配金込み）

#### 基準価額の主な変動要因

「外国投資適格社債マザーファンド」を通じて、主に海外の投資適格社債を対象としたETF（※）に投資し、為替ヘッジを行い運用した結果、投資適格社債価格の上昇（現地通貨ベース）はプラス要因となったものの、為替ヘッジコストの上昇が重しとなり、基準価額は小幅に下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※当ファンドにおいてETFとは、上場投資信託証券および上場投資法人債券をいいます。

年 月 日	基 準 価 額		F T S E 世界 B I G 社 債 イ ン デ ッ ク ス (除く円建て、米ドルベース) (参考指数)		投資信託 受益証券 組入比率	投資証券 組入比率
	円	騰 落 率	騰 落 率	%		
(期首) 2023年6月15日	8,867	—	10,252	—	75.1	22.2
6月末	8,861	△ 0.1	10,275	0.2	74.8	22.2
7月末	8,873	0.1	10,410	1.5	73.9	21.9
8月末	8,767	△ 1.1	10,320	0.7	75.7	22.0
9月末	8,522	△ 3.9	10,002	△ 2.4	74.9	21.9
10月末	8,365	△ 5.7	9,937	△ 3.1	74.6	22.2
11月末	8,798	△ 0.8	10,542	2.8	74.1	22.0
12月末	9,060	2.2	10,974	7.0	73.5	21.8
2024年1月末	8,938	0.8	10,818	5.5	74.4	21.6
2月末	8,789	△ 0.9	10,718	4.5	75.1	22.2
3月末	8,888	0.2	10,842	5.8	75.6	21.8
4月末	8,684	△ 2.1	10,648	3.9	75.7	22.8
5月末	8,706	△ 1.8	10,765	5.0	74.5	22.2
(期末) 2024年6月17日	8,821	△ 0.5	10,889	6.2	75.6	22.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

（2023. 6. 16 ~ 2024. 6. 17）

### 外国投資適格社債市況

外国投資適格社債市場は上昇しました。

現地通貨ベースの外国投資適格社債市場は、当作成期首より、米国の経済指標が市場予想を上回ったことや、2023年9月のFOMC（米国連邦公開市場委員会）においてパウエルFRB（米国連邦準備制度理事会）議長が利上げ継続の意向を示したことから市場金利が上昇し、債券価格は下落しました。11月から年末にかけては、国債の需要低下への懸念が後退したことや米国の経済指標が軒並み市場予想を下回ったことなどから利上げサイクルの終了が近づいたとの見方が強まり、市場金利が大きく低下して債券価格は上昇しました。2024年に入ると、米国の多くの経済指標が市場予想を上回ったことや、FRB高官らが早期の利下げに慎重な見解を示したことから市場金利は上昇しましたが、米国のソフトランディング期待や好調な企業業績などから、債券価格は底堅く推移しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### 当ファンド

「外国投資適格社債マザーファンド」を通じて、海外の投資適格社債を対象としたETFに投資します。

保有実質外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、保有外貨および各ETFの取引通貨売り／円買いの為替取引を行います。

### 外国投資適格社債マザーファンド

主に海外の投資適格社債を対象としたETFに投資を行います。

各ETFの投資効率分析などを踏まえ、効率的なETFへの配分をめざし、またポートフォリオ全体のリスクを注視し、信託財産の成長をめざします。

なお、ETFへの投資にあたっては、大和証券株式会社から助言を受けます。

## ポートフォリオについて

（2023. 6. 16 ~ 2024. 6. 17）

### 当ファンド

「外国投資適格社債マザーファンド」の受益証券の組入比率を高位に維持しました。

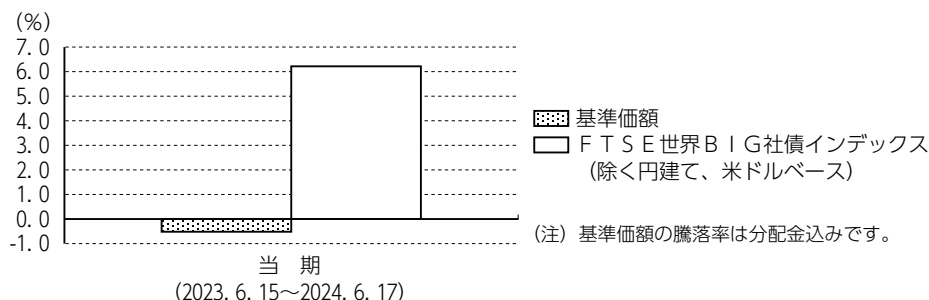
保有実質外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、保有外貨および各ETFの取引通貨売り／円買いの為替取引を行いました。

### 外国投資適格社債マザーファンド

海外の投資適格社債を対象としたETFに投資しました。また、投資効率分析などを踏まえて、適宜ETFの配分比率の見直しを行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。  
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期は、信託財産の成長を考慮して、収益分配を見送らせていただきました。  
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項目	当期	
	2023年6月16日 ～2024年6月17日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	877

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。  
(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。  
(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。  
(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



## 今後の運用方針

### 当ファンド

「外国投資適格社債マザーファンド」を通じて、海外の投資適格社債を対象としたETFに投資します。

保有実質外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、保有外貨および各ETFの取引通貨売り／円買いの為替取引を行います。

### 外国投資適格社債マザーファンド

主に海外の投資適格社債を対象としたETFに投資を行います。

各ETFの投資効率分析などを踏まえ、効率的なETFへの配分をめざし、またポートフォリオ全体のリスクを注視し、信託財産の成長をめざします。

なお、ETFへの投資にあたっては、大和証券株式会社から助言を受けます。

1 万口当りの費用の明細

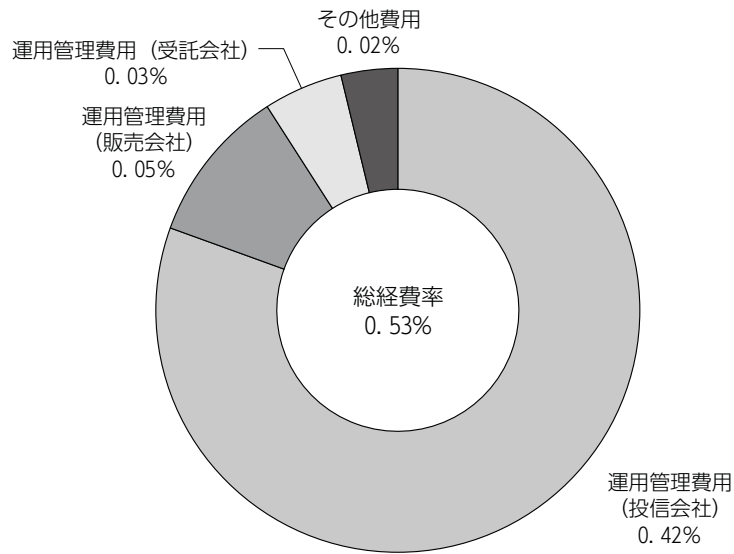
項 目	当 期 (2023. 6. 16~2024. 6. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	45円	0.509%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は8,762円です。
（投 信 会 社）	(37)	(0.426)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(5)	(0.055)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0.028)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	4	0.041	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託受益証券）	(2)	(0.025)	
（投 資 証 券）	(1)	(0.016)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資信託受益証券）	(0)	(0.000)	
そ の 他 費 用	2	0.020	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(1)	(0.015)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	50	0.570	

- (注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
- (注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
- (注 3) 各比率は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第 3 位未満を四捨五入してあります。
- (注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.53%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2023年6月16日から2024年6月17日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国投資適格社債 マザーファンド	591,423	874,190	1,056,451	1,559,844

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	口 数	評 価 額	口 数	評 価 額
	千口	千円	千口	千円
外国投資適格社債 マザーファンド	2,050,098	1,585,070	2,593,175	2,593,175

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年6月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
外国投資適格社債マザーファンド	2,593,175	99.0 %
コール・ローン等、その他	25,483	1.0
投資信託財産総額	2,618,658	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6月17日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=157.53円、1カナダ・ドル=114.69円、1オーストラリア・ドル=104.17円、1イギリス・ポンド=199.87円、1ユーロ=168.64円です。

(注3) 外国投資適格社債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(4,546,937千円)の投資信託財産総額(4,585,619千円)に対する比率は、99.2%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年6月17日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	5,211,066,956円
コール・ローン等	16,156,694
外国投資適格社債マザーファンド(評価額)	2,593,175,588
未収入金	2,601,734,674
(B) 負債	2,610,373,362
未払金	2,603,706,801
未払信託報酬	6,594,971
その他未払費用	71,590
(C) 純資産総額(A-B)	2,600,693,594
元本	2,948,407,640
次期繰越損益金	△ 347,714,046
(D) 受益権総口数	2,948,407,640口
1万口当り基準価額(C/D)	8,821円

\* 期首における元本額は3,184,237,317円、当作成期間中における追加設定元本額は747,747,262円、同解約元本額は983,576,939円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は8,821円です。

\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は347,714,046円です。

■損益の状況

当期 自2023年6月16日 至2024年6月17日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	316円
受取利息	6,094
支払利息	△ 5,778
(B) 有価証券売買損益	4,891,474
売買益	668,143,803
売買損	△ 663,252,329
(C) 信託報酬等	△ 13,419,115
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 8,527,325
(E) 前期繰越損益金	△ 289,919,272
(F) 追加信託差損益金	△ 49,267,449
(配当等相当額)	( 203,055,023)
(売買損益相当額)	(△ 252,322,472)
(G) 合計(D+E+F)	△ 347,714,046
次期繰越損益金(G)	△ 347,714,046
追加信託差損益金	△ 49,267,449
(配当等相当額)	( 203,055,023)
(売買損益相当額)	(△ 252,322,472)
分配準備積立金	55,732,478
繰越損益金	△ 354,179,075

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	203,055,023
(d) 分配準備積立金	55,732,478
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	258,787,501
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	258,787,501
(h) 受益権総口数	2,948,407,640口

# 外国投資適格社債マザーファンド

## 運用報告書 第8期 (決算日 2024年6月17日)

(作成対象期間 2023年6月16日~2024年6月17日)

外国投資適格社債マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

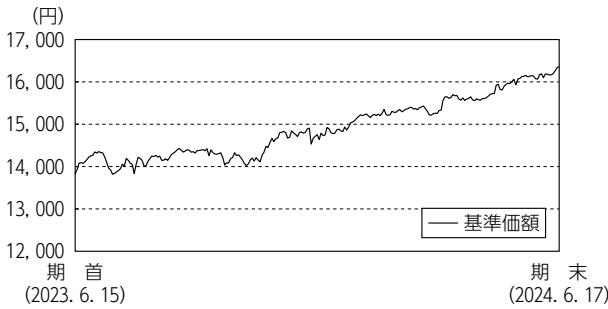
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	世界（日本を含みます。）の金融商品取引所上場のETF ※このファンドにおいてETFとは上場投資信託証券および上場投資法人債券をいいます。
株式組入制限	無制限

### 大和アセットマネジメント

Daiva Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

#### ■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		FTSE世界BIG社債インデックス (除く円建て、円換算)		投資信託受益証券組入比率	投資証券組入比率
	円	騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首) 2023年6月15日	13,826	—	14,286	—	74.8	22.1
6月末	14,313	3.5	14,786	3.5	74.9	22.2
7月末	14,045	1.6	14,566	2.0	74.3	22.0
8月末	14,422	4.3	14,975	4.8	75.0	21.8
9月末	14,303	3.5	14,850	3.9	74.5	21.7
10月末	14,106	2.0	14,746	3.2	74.8	22.2
11月末	14,801	7.1	15,389	7.7	75.1	22.3
12月末	14,841	7.3	15,449	8.1	74.6	22.1
2024年1月末	15,237	10.2	15,843	10.9	74.4	21.6
2月末	15,367	11.1	16,028	12.2	75.0	22.2
3月末	15,671	13.3	16,294	14.1	74.7	21.5
4月末	15,920	15.1	16,583	16.1	74.4	22.4
5月末	16,063	16.2	16,748	17.2	74.7	22.2
(期末) 2024年6月17日	16,360	18.3	17,026	19.2	75.8	22.1

(注1) 騰落率は期首比。  
(注2) FTSE世界BIG社債インデックス (除く円建て、円換算) は、FTSE世界BIG社債インデックス (除く円建て、米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。FTSE世界BIG社債インデックス (除く円建て、米ドルベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。  
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。  
(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

#### 《運用経過》

##### ◆基準価額等の推移について

###### 【基準価額・騰落率】

期首：13,826円 期末：16,360円 騰落率：18.3%

###### 【基準価額の主な変動要因】

主に海外の投資適格社債を対象としたETF (※) に投資を行った結果、投資適格社債価格の上昇 (現地通貨ベース) および為替相場での投資対象通貨の上昇 (円安) がプラス要因となり、基準価額は上昇

しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※当ファンドにおいてETFとは、上場投資信託証券および上場投資法人債券をいいます。

##### ◆投資環境について

###### ○外国投資適格社債市況

外国投資適格社債市場は上昇しました。

現地通貨ベースの外国投資適格社債市場は、当作成期首より、米国の経済指標が市場予想を上回ったことや、2023年9月のFOMC (米国連邦公開市場委員会) においてパウエルFRB (米国連邦準備制度理事会) 議長が利上げ継続の意向を示したこと、2024年の政策金利見通しが従来予想から引き上げられ金融引き締めが長期化するとの見方が広まったことなどから市場金利が上昇し、債券価格は下落しました。11月から年末にかけては、国債の需要低下への懸念が後退したことや米国の経済指標が軒並み市場予想を下回ったことなどから利上げサイクルの終了が近づいたとの見方が強まり、市場金利が大きく低下して債券価格は上昇しました。2024年に入ると、米国の多くの経済指標が市場予想を上回ったことや、FRB高官らが早期の利下げに慎重な見解を示したことから市場金利は上昇しましたが、米国のソフトランディング期待や好調な企業業績などから、債券価格は底堅く推移しました。

###### ○為替相場

米ドル、カナダ・ドル、ユーロ、英ポンドは対円で上昇しました。

投資対象通貨は、当作成期首から2023年11月ごろにかけて、日本とその他の国・地域間での金融政策の相違等を背景に、対円で上昇しました。その後は、日銀の政策修正観測や米国の金融引き締め政策の終了期待などから下落 (円高) しましたが、2024年に入ると、欧米の好調な経済指標や米国における利下げ観測の後退などから投資対象通貨は再び上昇に転じ、当作成期末にかけて上昇基調が継続しました。

##### ◆前作成期末における「今後の運用方針」

主に海外の投資適格社債を対象としたETFに投資を行います。

各ETFの投資効率分析などを踏まえ、効率的なETFへの配分をめざし、またポートフォリオ全体のリスクを注視し、信託財産の成長をめざします。

なお、ETFへの投資にあたっては、大和証券株式会社から助言を受けます。

##### ◆ポートフォリオについて

海外の投資適格社債を対象としたETFに投資しました。また、投資効率分析などを踏まえて、適宜ETFの配分比率の見直しを行いました。

##### ◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

#### 《今後の運用方針》

主に海外の投資適格社債を対象としたETFに投資を行います。

各ETFの投資効率分析などを踏まえ、効率的なETFへの配分をめざし、またポートフォリオ全体のリスクを注視し、信託財産の成長をめざします。

なお、ETFへの投資にあたっては、大和証券株式会社から助言を受けます。



■ 1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料 (投資信託受益証券) (投資証券)	6円 (4) (2)
有価証券取引税 (投資信託受益証券)	0 (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	2 (2) (0)
合計	8

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

(1) 投資信託受益証券

(2023年6月16日から2024年6月17日まで)

銘柄	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
<b>アメリカ</b>	千口	千アメリカ・ドル	千口	千アメリカ・ドル
VANGUARD INT-TERM CORPORATE	14.99	1,188	12.4	974
VANGUARD S/T CORP BOND ETF	24.58	1,884	11	833
VANGUARD LONG-TERM CORP BOND	4.7	347	23.8	1,816
ISHARES IBOXX INVESTMENT GRA	26.41	2,809	26.15	2,777
<b>カナダ</b>	千口	千カナダ・ドル	千口	千カナダ・ドル
BMO MID CORPORATE BOND INDEX	3.9	58	5.1	71
ISHARES CORE CANADIAN CORPOR	5.6	108	3.9	72

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資証券

(2023年6月16日から2024年6月17日まで)

銘柄	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
<b>イギリス</b>	千口	千イギリス・ポンド	千口	千イギリス・ポンド
ISHARES GBP CORP BOND 0-5 YR	0.45	44	0.5	48
<b>ユーロ (アイルランド)</b>	千口	千ユーロ	千口	千ユーロ
ISHARES CORE EURO CORP BOND	4.77	560	7.91	921
ISHARES EURO CORP 1-5 YR	3.55	372	1.4	142
ISHARES EURO CORP EX-FINCL	1.1	116	1.1	114
ISHS CORP BD EX-FINLS - 5 YR ESG U	0.52	54	0.4	40

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■ 組入資産明細表

(1) 外国投資信託受益証券

銘柄	期首		当期末	
	口数	口数	評価額	評価額
			外貨建金額	邦貨換算金額
<b>(アメリカ)</b>	千口	千口	千アメリカ・ドル	千円
VANGUARD INT-TERM CORPORATE	48.1	50.69	4,080	642,728
VANGUARD S/T CORP BOND ETF	42.45	56.03	4,333	682,590
VANGUARD LONG-TERM CORP BOND	22.9	3.8	295	46,488
ISHARES IBOXX INVESTMENT GRA	111.5	111.76	12,121	1,909,498
アメリカ・ドル 通貨計	口数、金額 224.95 4銘柄	口数、金額 222.28 4銘柄	20,829	3,281,305
				<71.7%>
<b>(カナダ)</b>	千口	千口	千カナダ・ドル	千円
BMO MID CORPORATE BOND INDEX	53.7	52.5	793	91,040

銘柄	期首		当期末	
	口数	口数	評価額	評価額
			外貨建金額	邦貨換算金額
ISHARES CORE CANADIAN CORPOR	千口	千口	千カナダ・ドル	千円
ISHARES CORE CANADIAN CORPOR	41.5	43.2	852	97,803
カナダ・ドル 通貨計	口数、金額 95.2 2銘柄	口数、金額 95.7 2銘柄	1,646	188,844
				<4.1%>
合計	口数、金額 320.15 6銘柄	口数、金額 317.98 6銘柄	3,470,150	3,470,150
				<75.8%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資証券

銘柄	期首		当期末	
	口数	口数	評価額	評価額
	千口	千口	千円	千円
<b>(イギリス)</b>			千円	千円
ISHARES CORE GBP CORP	1.83	1.83	222	44,513
ISHARES GBP CORP BOND 0-5YR	2.52	2.47	247	49,402
イギリス・ポンド	口数、金額	4.35	4.3	469 93,915
通貨計	銘柄数<比率>	2銘柄	2銘柄	<2.1%>
<b>ユーロ(アイルランド)</b>			千ユーロ	千円
ISHARES CORE EURO CORP BOND	25.86	22.72	2,700	455,488
ISHARES EURO CORP 1-5YR	10.45	12.6	1,330	224,364
ISHARES EURO CORP EX-FINCL	7.79	7.79	837	141,249
ISHS CORP BD EX-FINLS-5YR ESG U	5.35	5.47	573	96,766
ユーロ	口数、金額	49.45	48.58	5,442 917,868
通貨計	銘柄数<比率>	4銘柄	4銘柄	<20.0%>
合計	口数、金額	53.8	52.88	— 1,011,784
	銘柄数<比率>	6銘柄	6銘柄	<22.1%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年6月17日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	3,470,150	75.7
投資証券	1,011,784	22.1
コール・ローン等、その他	103,684	2.2
投資信託財産総額	4,585,619	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6月17日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=157.53円、1カナダ・ドル=114.69円、1オーストラリア・ドル=104.17円、1イギリス・ポンド=199.87円、1ユーロ=168.64円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(4,546,937千円)の投資信託財産総額(4,585,619千円)に対する比率は、99.2%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年6月17日現在

項目	当期末
<b>(A) 資産</b>	<b>4,585,619,295円</b>
コール・ローン等	103,161,915
投資信託受益証券(評価額)	3,470,150,006
投資証券(評価額)	1,011,784,664
未取配当金	522,710
<b>(B) 負債</b>	<b>6,600,000</b>
未払解約金	6,600,000
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>4,579,019,295</b>
元本	2,798,989,976
次期繰越損益金	1,780,029,319
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>2,798,989,976口</b>
1万口当り基準価額(C/D)	16,360円

\* 期首における元本額は2,965,228,199円、当作成期間中における追加設定元本額は967,925,948円、同解約元本額は1,134,164,171円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：  
ダイワファンドラップ 外国投資適格社債ファンド (為替ヘッジあり)

1,585,070,653円

ダイワファンドラップ 外国投資適格社債ファンド (為替ヘッジなし)

1,213,919,323円

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は16,360円です。

■損益の状況

当期 自2023年6月16日 至2024年6月17日

項目	当期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>165,071,992円</b>
受取配当金	161,423,724
受取利息	3,662,527
その他収益金	3,111
支払利息	△ 17,370
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>545,220,950</b>
売買益	553,223,150
売買損	△ 8,002,200
<b>(C) その他費用</b>	<b>△ 431,073</b>
<b>(D) 当期損益金(A+B+C)</b>	<b>709,861,869</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>1,134,483,227</b>
<b>(F) 解約差損益金</b>	<b>△ 541,579,829</b>
<b>(G) 追加信託差損益金</b>	<b>477,264,052</b>
<b>(H) 合計(D+E+F+G)</b>	<b>1,780,029,319</b>
次期繰越損益金(H)	1,780,029,319

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

# ダイワファンドラップ 外国投資適格社債 ファンド (為替ヘッジなし)

## 運用報告書(全体版) 第8期

(決算日 2024年6月17日)  
(作成対象期間 2023年6月16日～2024年6月17日)

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（設定日：2016年9月26日）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	外国投資適格社債マザーファンドの受益証券
	外国投資適格社債マザーファンド	世界（日本を含みます。）の金融商品取引所上場のETF ※このファンドにおいてETFとは上場投資信託証券および上場投資法人債券をいいます。
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	ベビーファンドの株式実質組入上限比率	
	マザーファンドの株式組入上限比率	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、海外の投資適格社債を対象としたETFに投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先（コールセンター）  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00～17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近 5 期の運用実績

決算期	基準価額			FTSE世界BIG社債 インデックス (除く円建て、円換算)		投資信託 受益証券 組入比率	投資証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税 分 配	込 金 騰 落	中 率	(参考指数)			
	円	円	%		%	%	%	百万円
4 期末 (2020年 6 月15日)	11,619	0	4.9	12,203	5.8	73.2	24.6	266
5 期末 (2021年 6 月15日)	12,466	0	7.3	13,349	9.4	71.8	23.3	854
6 期末 (2022年 6 月15日)	12,440	0	△ 0.2	13,286	△ 0.5	72.5	23.7	961
7 期末 (2023年 6 月15日)	13,285	0	6.8	14,286	7.5	74.2	21.9	1,275
8 期末 (2024年 6 月17日)	15,633	0	17.7	17,026	19.2	75.6	22.0	1,991

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) FTSE世界BIG社債インデックス（除く円建て、円換算）は、FTSE世界BIG社債インデックス（除く円建て、米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。FTSE世界BIG社債インデックス（除く円建て、米ドルベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

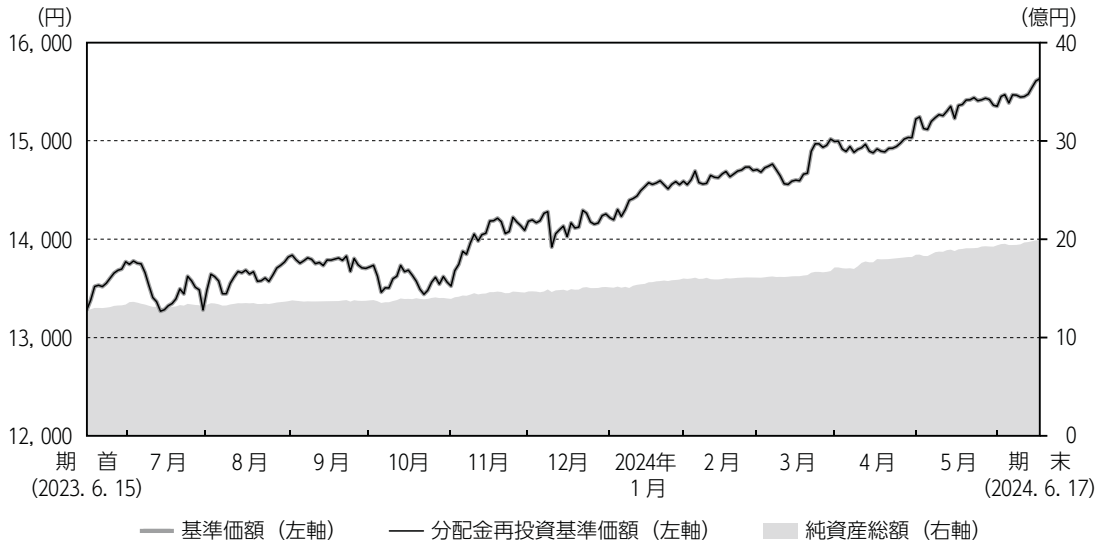
(注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注 5) 投資信託受益証券および投資証券の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

期首：13,285円

期末：15,633円（分配金0円）

騰落率：17.7%（分配金込み）

#### 基準価額の主な変動要因

「外国投資適格社債マザーファンド」を通じて、主に海外の投資適格社債を対象としたETF（※）に投資を行った結果、投資適格社債価格の上昇（現地通貨ベース）および為替相場での投資対象通貨の上昇（円安）がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※当ファンドにおいてETFとは、上場投資信託証券および上場投資法人債券をいいます。

年 月 日	基 準 価 額		F T S E 世界 B I G 社 債 イ ン デ ッ ク ス (除く円建て、円換算)		投資信託 受益証券 組入比率	投資証券 組入比率
	円	騰 落 率	(参 考 指 数)	騰 落 率		
(期 首) 2023年 6 月 15 日	13,285	—	14,286	—	74.2	21.9
6 月 末	13,745	3.5	14,786	3.5	74.1	22.0
7 月 末	13,484	1.5	14,566	2.0	73.6	21.8
8 月 末	13,838	4.2	14,975	4.8	74.8	21.7
9 月 末	13,719	3.3	14,850	3.9	74.4	21.7
10 月 末	13,524	1.8	14,746	3.2	74.7	22.2
11 月 末	14,183	6.8	15,389	7.7	75.1	22.3
12 月 末	14,218	7.0	15,449	8.1	74.6	22.1
2024 年 1 月 末	14,590	9.8	15,843	10.9	74.3	21.6
2 月 末	14,708	10.7	16,028	12.2	74.9	22.2
3 月 末	14,994	12.9	16,294	14.1	74.6	21.5
4 月 末	15,224	14.6	16,583	16.1	74.3	22.4
5 月 末	15,353	15.6	16,748	17.2	74.7	22.2
(期 末) 2024 年 6 月 17 日	15,633	17.7	17,026	19.2	75.6	22.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2023. 6. 16 ~ 2024. 6. 17)

### 外国投資適格社債市況

外国投資適格社債市場は上昇しました。

現地通貨ベースの外国投資適格社債市場は、当作成期首より、米国の経済指標が市場予想を上回ったことや、2023年9月のFOMC（米国連邦公開市場委員会）においてパウエルFRB（米国連邦準備制度理事会）議長が利上げ継続の意向を示したこと、2024年の政策金利見通しが従来予想から引き上げられ金融引き締めが長期化するとの見方が広まったことなどから市場金利が上昇し、債券価格は下落しました。11月から年末にかけては、国債の需要低下への懸念が後退したことや米国の経済指標が軒並み市場予想を下回ったことなどから利上げサイクルの終了が近づいたとの見方が強まり、市場金利が大きく低下して債券価格は上昇しました。2024年に入ると、米国の多くの経済指標が市場予想を上回ったことや、FRB高官らが早期の利下げに慎重な見解を示したことから市場金利は上昇しましたが、米国のソフトランディング期待や好調な企業業績などから、債券価格は底堅く推移しました。

### 為替相場

米ドル、カナダ・ドル、ユーロ、英ポンドは対円で上昇しました。

投資対象通貨は、当作成期首から2023年11月ごろにかけて、日本とその他の国・地域間での金融政策の相違等を背景に、対円で上昇しました。その後は、日銀の政策修正観測や米国の金融引き締め政策の終了期待などから下落（円高）しましたが、2024年に入ると、欧米の好調な経済指標や米国における利下げ観測の後退などから投資対象通貨は再び上昇に転じ、当作成期末にかけて上昇基調が継続しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### 当ファンド

「外国投資適格社債マザーファンド」を通じて、海外の投資適格社債を対象としたETFに投資します。

### 外国投資適格社債マザーファンド

主に海外の投資適格社債を対象としたETFに投資を行います。

各ETFの投資効率分析などを踏まえ、効率的なETFへの配分をめざし、またポートフォリオ全体のリスクを注視し、信託財産の成長をめざします。

なお、ETFへの投資にあたっては、大和証券株式会社から助言を受けます。

## ポートフォリオについて

(2023. 6. 16 ~ 2024. 6. 17)

### 当ファンド

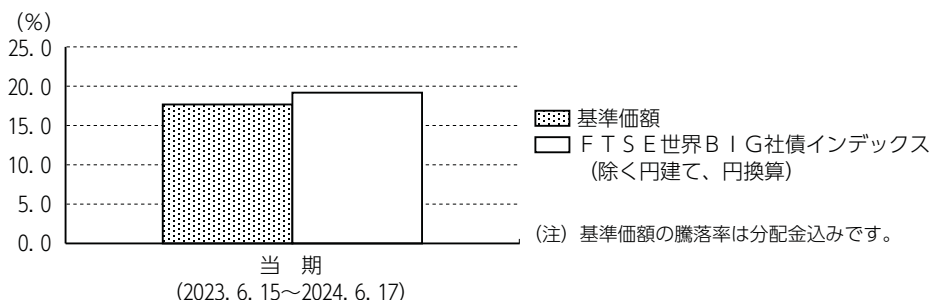
「外国投資適格社債マザーファンド」の受益証券の組入比率を高位に維持しました。

### 外国投資適格社債マザーファンド

海外の投資適格社債を対象としたETFに投資しました。また、投資効率分析などを踏まえて、適宜ETFの配分比率の見直しを行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。  
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期は、信託財産の成長を考慮して、収益分配を見送らせていただきました。  
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項目	当 期	
	2023年6月16日 ～2024年6月17日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	5,632

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。  
(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。  
(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。  
(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



## 今後の運用方針

### 当ファンド

「外国投資適格社債マザーファンド」を通じて、海外の投資適格社債を対象としたETFに投資します。

### 外国投資適格社債マザーファンド

主に海外の投資適格社債を対象としたETFに投資を行います。

各ETFの投資効率分析などを踏まえ、効率的なETFへの配分をめざし、またポートフォリオ全体のリスクを注視し、信託財産の成長をめざします。

なお、ETFへの投資にあたっては、大和証券株式会社から助言を受けます。



1 万口当りの費用の明細

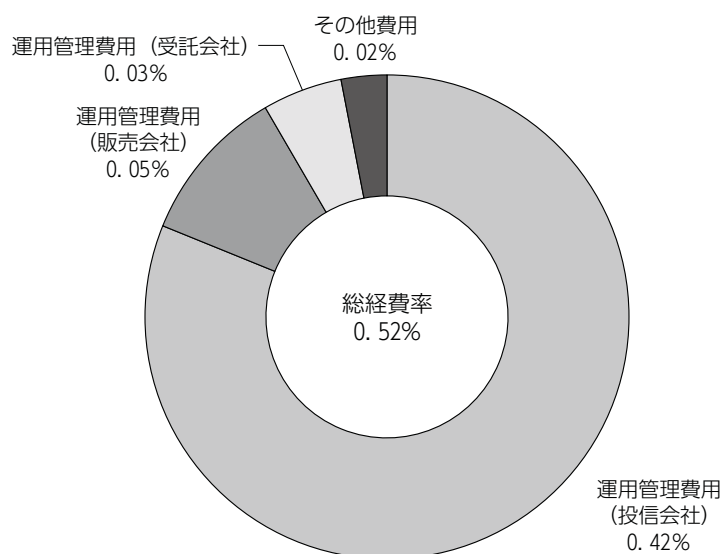
項 目	当 期 (2023. 6. 16~2024. 6. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	73円	0.509%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は14,281円です。
（投 信 会 社）	(61)	(0.426)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(8)	(0.055)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(4)	(0.028)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	6	0.041	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託受益証券）	(4)	(0.025)	
（投 資 証 券）	(2)	(0.016)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資信託受益証券）	(0)	(0.000)	
そ の 他 費 用	2	0.016	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(2)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	81	0.566	

- (注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
- (注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
- (注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。
- (注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.52%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2023年6月16日から2024年6月17日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国投資適格社債 マザーファンド	376,502	571,000	77,713	115,900

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	口 数	評 価 額	口 数	評 価 額
	千口	千円	千口	千円
外国投資適格社債 マザーファンド	915,129	1,213,919	1,985,972	1,985,972

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年6月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
外国投資適格社債マザーファンド	1,985,972	99.5
コール・ローン等、その他	9,886	0.5
投資信託財産総額	1,995,858	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6月17日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=157.53円、1カナダ・ドル=114.69円、1オーストラリア・ドル=104.17円、1イギリス・ポンド=199.87円、1ユーロ=168.64円です。

(注3) 外国投資適格社債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(4,546,937千円)の投資信託財産総額(4,585,619千円)に対する比率は、99.2%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年6月17日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,995,858,587円
コール・ローン等	9,886,575
外国投資適格社債マザーファンド(評価額)	1,985,972,012
(B) 負債	4,384,271
未払信託報酬	4,337,219
その他未払費用	47,052
(C) 純資産総額(A-B)	1,991,474,316
元本	1,273,929,673
次期繰越損益金	717,544,643
(D) 受益権総口数	1,273,929,673口
1万口当り基準価額(C/D)	15,633円

\* 期首における元本額は960,340,981円、当作成期間中における追加設定元本額は418,022,269円、同解約元本額は104,433,577円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は15,633円です。

■損益の状況

当期 自2023年6月16日 至2024年6月17日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 1,024円
受取利息	1,033
支払利息	△ 2,057
(B) 有価証券売買損益	256,193,700
売買益	265,612,548
売買損	△ 9,418,848
(C) 信託報酬等	△ 7,904,718
(D) 当期損益金(A+B+C)	248,287,958
(E) 前期繰越損益金	98,319,171
(F) 追加信託差損益金	370,937,514
(配当等相当額)	( 181,476,668)
(売買損益相当額)	( 189,460,846)
(G) 合計(D+E+F)	717,544,643
次期繰越損益金(G)	717,544,643
追加信託差損益金	370,937,514
(配当等相当額)	( 181,476,668)
(売買損益相当額)	( 189,460,846)
分配準備積立金	346,608,153
繰越損益金	△ 1,024

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	248,283,968
(c) 収益調整金	370,937,514
(d) 分配準備積立金	98,324,185
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	717,545,667
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	717,545,667
(h) 受益権総口数	1,273,929,673口

■外国投資適格社債マザーファンドの第8期決算については、31～33ページをご参照ください。

# ダイワファンドラップ コモディティ・プラス・ ファンド

## 運用報告書(全体版) 第8期

(決算日 2024年6月17日)  
(作成対象期間 2023年6月16日～2024年6月17日)

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合		
信託期間	無期限（設定日：2016年9月26日）		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	コモディティ・プラス・マザーファンドの受益証券	
	コモディティ・プラス・マザーファンド	世界（日本を含みます。）の金融商品取引所上場のETF ※このファンドにおいてETFとは上場投資信託証券および上場投資法人債券をいいます。	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	ベビーファンドの株式実質組入上限比率		
	マザーファンドの株式組入上限比率		
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。		

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、商品を対象としたETFまたは商品に関連する株式を対象としたETFに投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先（コールセンター）  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00～17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近 5 期の運用実績

決算期	基準価額			ブルームバーグ商品指数 (円換算)			投資信託 受益証券 組入比率	投資証券 組入比率	純資産額
	(分配落)	税 分 配	込 金 騰 落 中 率	(参考指数)	期 騰 落 中 率	中 率			
4 期末 (2020年 6 月15日)	円 8,572	円 0	% △ 20.5	8,042	% △ 19.2	% 90.1	% 4.0	百万円 948	
5 期末 (2021年 6 月15日)	12,465	0	45.4	12,224	52.0	92.8	3.8	1,487	
6 期末 (2022年 6 月15日)	18,401	0	47.6	20,511	67.8	91.8	3.9	1,948	
7 期末 (2023年 6 月15日)	16,835	0	△ 8.5	16,737	△ 18.4	92.0	4.1	2,119	
8 期末 (2024年 6 月17日)	21,178	0	25.8	18,995	13.5	92.4	3.6	3,423	

- (注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。  
 (注 2) ブルームバーグ商品指数 (円換算) は、ブルームバーグ商品指数 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。  
 (注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。  
 (注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。  
 (注 5) 投資信託受益証券および投資証券の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

期首：16,835円

期末：21,178円（分配金0円）

騰落率：25.8%（分配金込み）

#### 基準価額の主な変動要因

「コモディティ・プラス・マザーファンド」を通じて、商品を対象としたETF（※）または商品に関連する株式を対象としたETFに投資を行った結果、商品価格や商品関連株式が堅調に推移したこと、米ドルが対円で上昇（円安）したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※当ファンドにおいてETFとは、上場投資信託証券および上場投資法人債券をいいます。

年 月 日	基 準 価 額		ブルームバーグ商品指数 (円換算)		投資信託 受益証券 組入比率	投資証券 組入比率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2023年6月15日	16,835	—	16,737	—	92.0	4.1
6月末	17,404	3.4	17,110	2.2	92.2	3.8
7月末	17,935	6.5	17,793	6.3	92.3	3.8
8月末	18,519	10.0	18,263	9.1	92.8	3.9
9月末	18,905	12.3	18,645	11.4	92.3	3.9
10月末	18,631	10.7	18,386	9.9	92.3	3.8
11月末	18,203	8.1	17,716	5.8	92.5	4.2
12月末	17,643	4.8	16,622	△ 0.7	92.9	4.3
2024年1月末	18,339	8.9	17,170	2.6	93.2	4.0
2月末	18,525	10.0	17,142	2.4	92.4	3.8
3月末	19,775	17.5	17,731	5.9	92.2	4.0
4月末	21,049	25.0	19,092	14.1	92.9	4.0
5月末	21,292	26.5	19,197	14.7	92.4	3.8
(期末) 2024年6月17日	21,178	25.8	18,995	13.5	92.4	3.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2023. 6. 16 ~ 2024. 6. 17)

### 商品市況

商品市況はおおむね堅調に推移しました。

エネルギー部門は、中東情勢の緊迫化による供給懸念から原油が上昇しました。一方で、天然ガスは下落しました。エネルギー関連企業の株価はおおむね上昇しました。

貴金属部門は、地政学リスクの高まりから安全資産である金に資金が流入しました。また、銀は産業用の需要拡大期待もあり上昇しました。貴金属関連企業の株価も同様に上昇しました。

産業金属部門は、中国の景気回復期待やロシア産の銅などに取引規制がかけられたことなどを受けて上昇しました。産業金属関連企業の株価もおおむね上昇しました。

農産物部門は、ココアやコーヒーが上昇する一方で、穀物は総じて軟調に推移しました。農産物関連企業の株価は下落しました。

### 為替相場

米ドルは対円で上昇しました。

米ドルは、日米での金融政策の方向性の違いにより、当作成期首から2023年10月にかけて、対円で上昇しました。11月以降は、為替介入への警戒感や、米国経済指標の軟化から早期利下げ観測が高まり、年末にかけて対円で下落（円高）しましたが、2024年に入ってから、米国の利下げ期待が後退したことで再び対円で上昇基調となりました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### 当ファンド

「コモディティ・プラス・マザーファンド」を通じて、商品を対象としたETFまたは商品に関連する株式を対象としたETFに投資します。

### コモディティ・プラス・マザーファンド

商品を対象としたETFまたは商品に関連する株式を対象としたETFに投資を行います。

各ETFの投資効率分析などを踏まえ、効率的なETFへの配分をめざし、またポートフォリオ全体のリスクを注視し、信託財産の成長をめざします。

なお、ETFへの投資にあたっては、大和証券株式会社から助言を受けます。

## ポートフォリオについて

(2023. 6. 16 ~ 2024. 6. 17)

### 当ファンド

「コモディティ・プラス・マザーファンド」の受益証券の組入比率を高位に維持しました。

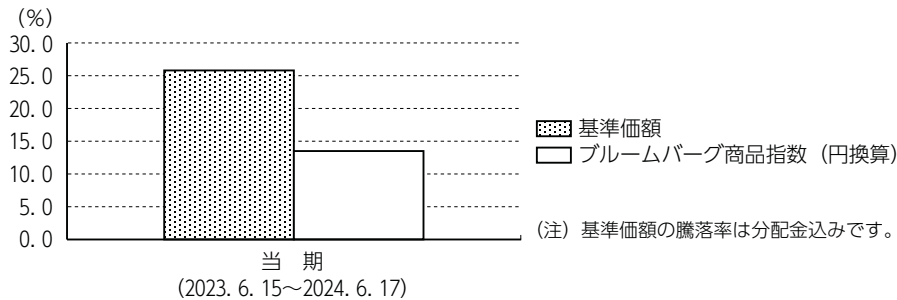
### コモディティ・プラス・マザーファンド

商品を対象としたETFまたは商品に関連する株式を対象としたETFに投資しました。また、投資効率分析などを踏まえて、適宜ETFの配分比率の見直しを行いました。



## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。  
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期は、信託財産の成長を考慮して、収益分配を見送らせていただきました。  
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳 (1万口当り)

項目	当期 2023年6月16日 ～2024年6月17日	
	当期分配金 (税込み) (円)	—
対基準価額比率 (%)	—	
当期の収益 (円)	—	
当期の収益以外 (円)	—	
翌期繰越分配対象額 (円)	11,177	

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。  
(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金 (税込み) に合致しない場合があります。  
(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金 (税込み) の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。  
(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



## 今後の運用方針

### 当ファンド

「コモディティ・プラス・マザーファンド」を通じて、商品を対象としたETFまたは商品に関連する株式を対象としたETFに投資します。

### コモディティ・プラス・マザーファンド

商品を対象としたETFまたは商品に関連する株式を対象としたETFに投資を行います。

各ETFの投資効率分析などを踏まえ、効率的なETFへの配分をめざし、またポートフォリオ全体のリスクを注視し、信託財産の成長をめざします。

なお、ETFへの投資にあたっては、大和証券株式会社から助言を受けます。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2023. 6. 16~2024. 6. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	96円	0.509%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は18,798円です。
(投 信 会 社)	(80)	(0.426)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(10)	(0.055)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(5)	(0.028)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	27	0.145	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投 資 信 託 受 益 証 券)	(27)	(0.144)	
(投 資 証 券)	(0)	(0.001)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投 資 信 託 受 益 証 券)	(0)	(0.000)	
そ の 他 費 用	3	0.018	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.012)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	126	0.671	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

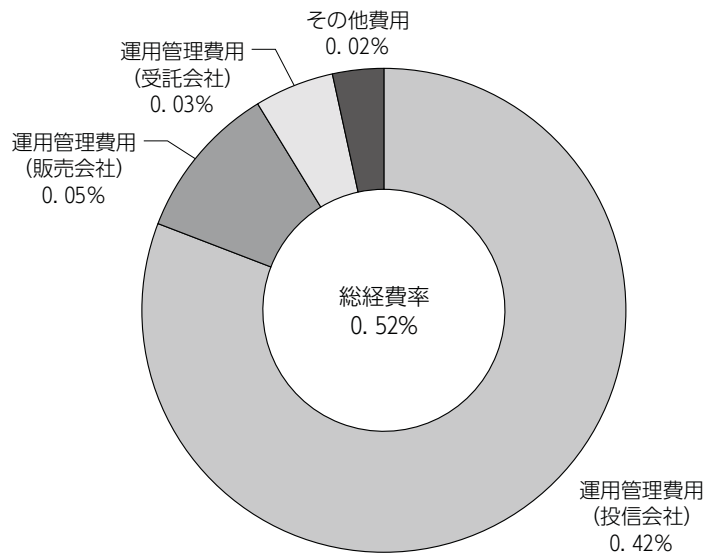
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.52%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2023年6月16日から2024年6月17日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
コモディティ・プラス・マザーファンド	549,796	1,070,090	212,147	416,200

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	口 数	評 価 額	口 数	評 価 額
	千口	千円	千口	千円
コモディティ・プラス・マザーファンド	1,198,199	1,535,848	3,407,741	3,407,741

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年6月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コモディティ・プラス・マザーファンド	3,407,741	99.3
コール・ローン等、その他	23,098	0.7
投資信託財産総額	3,430,839	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6月17日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=157.53円です。

(注3) コモディティ・プラス・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(3,304,798千円)の投資信託財産総額(3,413,785千円)に対する比率は、96.8%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年6月17日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	3,430,839,755円
コール・ローン等	17,098,134
コモディティ・プラス・マザーファンド(評価額)	3,407,741,621
未収入金	6,000,000
(B) 負債	7,743,717
未払解約金	106,610
未払信託報酬	7,555,079
その他未払費用	82,028
(C) 純資産総額(A-B)	3,423,096,038
元本	1,616,367,463
次期繰越損益金	1,806,728,575
(D) 受益権総口数	1,616,367,463口
1万口当り基準価額(C/D)	21,178円

\* 期首における元本額は1,258,760,927円、当作成期間中における追加設定元本額は675,066,268円、同解約元本額は317,459,732円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は21,178円です。

■損益の状況

当期 自2023年6月16日 至2024年6月17日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 2,419円
受取利息	2,209
支払利息	△ 4,628
(B) 有価証券売買損益	605,168,509
売買益	652,554,400
売買損	△ 47,385,891
(C) 信託報酬等	△ 14,037,096
(D) 当期損益金(A+B+C)	591,128,994
(E) 前期繰越損益金	390,194,619
(F) 追加信託差損益金	825,404,962
(配当等相当額)	( 817,617,183)
(売買損益相当額)	( 7,787,779)
(G) 合計(D+E+F)	1,806,728,575
次期繰越損益金(G)	1,806,728,575
追加信託差損益金	825,404,962
(配当等相当額)	( 817,617,183)
(売買損益相当額)	( 7,787,779)
分配準備積立金	981,326,032
繰越損益金	△ 2,419

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	475,113,921
(c) 収益調整金	825,404,962
(d) 分配準備積立金	506,212,111
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	1,806,730,994
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	1,806,730,994
(h) 受益権総口数	1,616,367,463口

ブルームバーグ商品指数とは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピー(Bloomberg Finance L.P.)およびその関係会社(以下「ブルームバーグ」と総称します。)とUBSセキュリティーズ・エル・エル・シー(UBS Securities LLC)の共同商品で、現物商品の先物契約により構成され、商品市場全体の値動きを表します。

ブルームバーグ商品指数(Bloomberg Commodity Index<sup>SM</sup>)および「ブルームバーグ(Bloomberg<sup>®</sup>)」は、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピー(Bloomberg Finance L.P.)およびその関係会社(以下「ブルームバーグ」と総称します。)のサービスマークであり、当社による一定の目的での利用のためにライセンスされています。ブルームバーグ商品指数(Bloomberg Commodity Index<sup>SM</sup>)は、ブルームバーグとUBSセキュリティーズ・エル・エル・シー(UBS Securities LLC)の間の契約に従ってブルームバーグが算出し、配信し、販売するものです。ブルームバーグ、ならびにUBSセキュリティーズ・エル・エル・シーおよびその関係会社(以下「UBS」と総称します。)のいずれも、当社の関係会社ではなく、ブルームバーグおよびUBSは、当ファンドを承認し、是認し、レビューまたは推奨するものではありません。ブルームバーグおよびUBSのいずれも、ブルームバーグ商品指数(Bloomberg Commodity Index<sup>SM</sup>)に関連するいかなるデータまたは情報の適時性、正確性または完全性も保証するものではありません。

# コモディティ・プラス・マザーファンド

## 運用報告書 第8期 (決算日 2024年6月17日)

(作成対象期間 2023年6月16日～2024年6月17日)

コモディティ・プラス・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

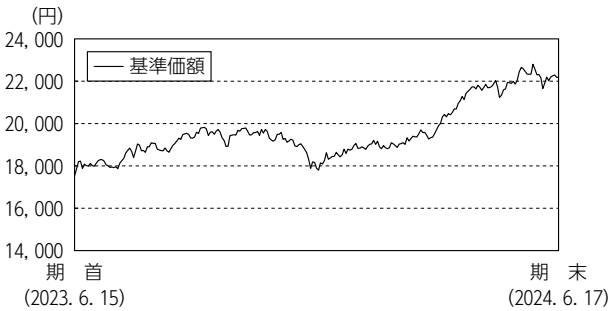
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	世界（日本を含みます。）の金融商品取引所上場のETF ※このファンドにおいてETFとは上場投資信託証券および上場投資法人債券をいいます。
株式組入制限	無制限

### 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

#### ■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		ブルームバーグ商品指数 (円換算)		投資信託受益証券組入比率	投資証券組入比率
	円	騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首) 2023年6月15日	17,522	—	16,737	—	92.9	4.1
6月末	18,125	3.4	17,110	2.2	93.1	3.9
7月末	18,690	6.7	17,793	6.3	93.2	3.8
8月末	19,310	10.2	18,263	9.1	93.0	3.9
9月末	19,720	12.5	18,645	11.4	92.4	4.0
10月末	19,442	11.0	18,386	9.9	92.4	3.8
11月末	19,001	8.4	17,716	5.8	92.6	4.2
12月末	18,431	5.2	16,622	0.7	93.0	4.3
2024年1月末	19,170	9.4	17,170	2.6	93.3	4.0
2月末	19,374	10.6	17,142	2.4	92.5	3.8
3月末	20,690	18.1	17,731	5.9	92.2	4.0
4月末	22,036	25.8	19,092	14.1	93.0	4.0
5月末	22,302	27.3	19,197	14.7	92.4	3.8
(期末) 2024年6月17日	22,188	26.6	18,995	13.5	92.9	3.6

(注1) 騰落率は期首比。  
 (注2) ブルームバーグ商品指数 (円換算) は、ブルームバーグ商品指数 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。  
 (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。  
 (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

#### 《運用経過》

##### ◆基準価額等の推移について

###### 【基準価額・騰落率】

期首：17,522円 期末：22,188円 騰落率：26.6%

###### 【基準価額の主な変動要因】

商品を対象としたETF (※) または商品に関連する株式を対象としたETFに投資を行った結果、商品価格や商品関連株式が堅調に推移したこと、米ドルが対円で上昇 (円安) したことがプラス要因とな

り、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※当ファンドにおいてETFとは、上場投資信託証券および上場投資法人債券をいいます。

##### ◆投資環境について

###### ○商品市況

商品市況はおおむね堅調に推移しました。

エネルギー部門は、中東情勢の緊迫化による供給懸念から原油が上昇しました。一方で、天然ガスは下落しました。エネルギー関連企業の株価はおおむね上昇しました。

貴金属部門は、地政学リスクの高まりから安全資産である金に資金が流入しました。また、銀は産業用の需要拡大期待もあり上昇しました。貴金属関連企業の株価も同様に上昇しました。

産業金属部門は、中国の景気回復期待やロシア産の銅などに取引規制がかけられたことなどをを受けて上昇しました。産業金属関連企業の株価もおおむね上昇しました。

農産物部門は、ココアやコーヒーが上昇する一方で、穀物は総じて軟調に推移しました。農産物関連企業の株価は下落しました。

###### ○為替相場

米ドルは対円で上昇しました。

米ドルは、日米での金融政策の方向性の違いにより、当作成期首から2023年10月にかけて、対円で上昇しました。11月以降は、為替介入への警戒感や、米国経済指標の軟化から早期利下げ観測が高まり、年末にかけて対円で下落 (円高) しましたが、2024年に入ってから、米国の利下げ期待が後退したことで再び対円で上昇基調となりました。

##### ◆前作成期末における「今後の運用方針」

商品を対象としたETFまたは商品に関連する株式を対象としたETFに投資を行います。

各ETFの投資効率分析などを踏まえ、効率的なETFへの配分をめざし、またポートフォリオ全体のリスクを注視し、信託財産の成長をめざします。

なお、ETFへの投資にあたっては、大和証券株式会社から助言を受けます。

##### ◆ポートフォリオについて

商品を対象としたETFまたは商品に関連する株式を対象としたETFに投資しました。また、投資効率分析などを踏まえて、適宜ETFの配分比率の見直しを行いました。

##### ◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

#### 《今後の運用方針》

商品を対象としたETFまたは商品に関連する株式を対象としたETFに投資を行います。

各ETFの投資効率分析などを踏まえ、効率的なETFへの配分をめざし、またポートフォリオ全体のリスクを注視し、信託財産の成長をめざします。

なお、ETFへの投資にあたっては、大和証券株式会社から助言を受けます。

■ 1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料 (投資信託受益証券) (投資証券)	28円 (28) (0)
有価証券取引税 (投資信託受益証券)	0 (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	2 (2) (0)
合計	31

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。  
(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

(1) 投資信託受益証券

(2023年6月16日から2024年6月17日まで)

銘柄	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
アメリカ	千口	千アメリカ・ドル	千口	千アメリカ・ドル
SPDR GOLD SHARES	4.75	908	2.9	529
ABRDN PHYSICAL PLATINUM SHARES ETF	5.75	476	—	—
SPDR S&P METALS & MINING ETF	6.6	355	4.3	227
ENERGY SELECT SECTOR SPDR	0.3	23	—	—
INVESCO DB AGRICULTURE FUND	65.9	1,451	53.4	1,290
INVESCO DB BASE METALS FUND	18.7	337	8.8	172
外国 MATERIALS SELECT SECTOR SPDR	1	80	—	—
ISHARES U. S. BASIC MATERIALS	0.95	129	—	—
VANECK AGRIBUSINESS	13.9	1,070	1.2	86
VANECK GOLD MINERS	8.2	259	—	—
UNITED STATES BRENT OIL FUND	23.4	681	5.8	173
UNITED STATES OIL FUND LP	8.7	629	2	147
US NATURAL GAS FUND LP	223.1	1,834	152.7	1,325
ISHARES SILVER TRUST	(△) 184.182)	(—)	(—)	(—)
	20.4	446	22.1	487

(注1) 金額は受渡し代金。  
(注2) 買付( )内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。  
(注3) 売付( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。  
(注4) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資証券

(2023年6月16日から2024年6月17日まで)

銘柄	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
アメリカ	千口	千アメリカ・ドル	千口	千アメリカ・ドル
外国 FLEXSHARES GLOBAL UPSTREAM N	0.7	29	—	—
ISHARES MSCI GLOBAL METALS &	3.8	154	—	—

(注1) 金額は受渡し代金。  
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国投資信託受益証券

銘柄	期首		当期末		
	□数	□数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	千口	千口	千アメリカ・ドル	千円	
<b>(アメリカ)</b>					
SPDR GOLD SHARES	12.4	14.25	3,074	484,271	
ABRDN PHYSICAL PLATINUM SHARES ETF	1.5	7.25	638	100,549	
SPDR S&P METALS & MINING ETF	18.78	21.08	1,227	193,299	
SPDR S&P OIL & GAS EXP & PR	1.225	1.225	174	27,545	
ENERGY SELECT SECTOR SPDR	1.7	2	176	27,737	
INVESCO DB AGRICULTURE FUND	126.7	139.2	3,564	561,580	
INVESCO DB BASE METALS FUND	40.8	50.7	1,006	158,617	
FIRST TRUST NATURAL GAS ETF	6.7	6.7	172	27,220	
MATERIALS SELECT SECTOR SPDR	3.7	4.7	418	65,879	
ISHARES GLOBAL ENERGY ETF	4	4	159	25,116	
ISHARES U.S. BASIC MATERIALS	3.45	4.4	616	97,107	
VANECK AGRIBUSINESS	14.45	27.15	1,897	298,915	
VANECK GOLD MINERS	4.9	13.1	437	68,946	
UNITED STATES BRENT OIL FUND	47.1	64.7	2,002	315,448	
UNITED STATES OIL FUND LP	21.8	28.5	2,168	341,569	
US NATURAL GAS FUND LP	189.275	75.493	1,499	236,183	
ISHARES SILVER TRUST	33.25	31.55	852	134,241	
合計	□数、金額	531.73	495.998	20,086	3,164,230
	銘柄数<比率>	17銘柄	17銘柄	<92.9%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。  
 (注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。  
 (注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資証券

銘柄	期首		当期末		
	□数	□数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	千口	千口	千アメリカ・ドル	千円	
<b>(アメリカ)</b>					
FLEXSHARES GLOBAL UPSTREAM N	3.6	4.3	171	27,047	
ISHARES MSCI GLOBAL METALS &	11.1	14.9	606	95,507	
合計	□数、金額	14.7	19.2	777	122,555
	銘柄数<比率>	2銘柄	2銘柄	<3.6%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。  
 (注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。  
 (注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年 6月17日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 3,164,230	% 92.7
投資証券	122,555	3.6
コール・ローン等、その他	126,999	3.7
投資信託財産総額	3,413,785	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。  
 (注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6月17日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=157.53円です。  
 (注3) 当期末における外貨建純資産(3,304,798千円)の投資信託財産総額(3,413,785千円)に対する比率は、96.8%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年 6月17日現在

項目	当期末
<b>(A) 資産</b>	<b>3,413,785,086円</b>
コール・ローン等	125,109,939
投資信託受益証券(評価額)	3,164,230,249
投資証券(評価額)	122,555,189
未収配当金	1,889,709
<b>(B) 負債</b>	<b>6,000,000</b>
未払解約金	6,000,000
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>3,407,785,086</b>
元本	1,535,848,937
次期繰越増益金	1,871,936,149
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>1,535,848,937口</b>
1万口当り基準価額(C/D)	22,188円

\* 期首における元本額は1,198,199,984円、当作成期間中における追加設定元本額は549,796,076円、同解約元本額は212,147,123円です。  
 \* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：  
 ダイワファンドラップ コモディティ・プラス・ファンド 1,535,848,937円  
 \* 当期末の計算口数当りの純資産額は22,188円です。

■損益の状況

当期 自2023年 6月16日 至2024年 6月17日

項目	当	期
<b>(A) 配当等収益</b>		<b>51,985,995円</b>
受取配当金		50,537,552
受取利息		1,466,664
支払利息	△	18,221
<b>(B) 有価証券売買損益</b>		<b>602,692,532</b>
売買益		701,081,655
売買損	△	98,389,123
<b>(C) その他費用</b>	△	<b>328,776</b>
<b>(D) 当期損益金(A+B+C)</b>		<b>654,349,751</b>
<b>(E) 前期繰越増益金</b>		<b>901,345,351</b>
<b>(F) 解約差損益金</b>	△	<b>204,052,877</b>
<b>(G) 追加信託差損益金</b>		<b>520,293,924</b>
<b>(H) 合計(D+E+F+G)</b>		<b>1,871,936,149</b>
次期繰越増益金(H)		1,871,936,149

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。  
 (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

ブルームバーグ商品指数とは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピー(Bloomberg Finance L.P.)およびその関係会社(以下「ブルームバーグ」と総称します。)とUBSセキュリティーズ・エル・エル・シー(UBS Securities LLC)の共同商品で、現物商品の先物契約により構成され、商品市場全体の値動きを表します。  
 ブルームバーグ商品指数(Bloomberg Commodity Index<sup>SM</sup>)および「ブルームバーグ(Bloomberg<sup>®</sup>)」は、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピー(Bloomberg Finance L.P.)およびその関係会社(以下「ブルームバーグ」と総称します。)のサービスマークであり、当社による一定の目的での利用のためにライセンスされています。ブルームバーグ商品指数(Bloomberg Commodity Index<sup>SM</sup>)は、ブルームバーグとUBSセキュリティーズ・エル・エル・シー(UBS Securities LLC)の間の契約に従ってブルームバーグが算出し、配信し、販売するものです。ブルームバーグ、ならびにUBSセキュリティーズ・エル・エル・シーおよびその関係会社(以下「UBS」と総称します。)のいずれも、当社の関係会社ではなく、ブルームバーグおよびUBSは、当ファンドを承認し、是認し、レビューまたは推奨するものではありません。ブルームバーグおよびUBSのいずれも、ブルームバーグ商品指数(Bloomberg Commodity Index<sup>SM</sup>)に関連するいかなるデータまたは情報の適時性、正確性または完全性を保証するものではありません。